

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

夏の甲子園を制した「エンジョイ・ベースボール」の考え方をビジネスパーソンにも

勤労感謝の日、「#祝エンジョイ論」の新聞広告を BEYBLADE X、に じさんじが出稿

株式会社朝日新聞社（代表取締役社長：中村史郎）は、「勤労感謝の日」の11月23日（木）の朝刊に、働く人が日常を楽しむ姿を描くプロジェクト「#祝エンジョイ論」に賛同した「BEYBLADE X」と「にじさんじ」の新聞広告を掲載しました。「#祝エンジョイ論」は、この夏の甲子園を制した慶応高校の球児が示した「エンジョイ・ベースボール」の考え方を野球以外の領域にも採り入れることを提案するプロジェクトです。楽しむことを大切にした働き方が広まるように広告を企画制作しました。



> contact

〈お問い合わせ〉
朝日新聞社メディア事業本部
プランニング3部
E-mail asahi-adinfo2@asahi.com



press release

朝日新聞

情報解禁日時
11月23日(木)09:00

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

【プロジェクト背景】

2023年の夏に開催された「第105回全国高等学校野球選手権大会」では、慶応(神奈川)が仙台育英(宮城)を破り、107年ぶり2回目の優勝を果たしました。慶応は「エンジョイ・ベースボール」を掲げ、夏の甲子園を制覇。「好きなことこそ自分で考えないと楽しくない」と、主体性を尊重するスタイルが大きな共感を集めました。

一方でビジネスパーソンに目を向けると、多くのビジネスパーソンが、エンジョイできていない現状があります。今年厚生労働省が発表した調査によると、仕事の強いストレスや長時間労働が原因でうつ病などの精神障害を発症し、労災と認められた人数は710人を記録。調査が始まった1983年度以降、これまでで最多となる数値となりました。

※:厚生労働省「過労死等※1の労災補償状況」2023年6月30日発表

【プロジェクトについて】

そのような背景を受け、「#祝エンジョイ論」では、この夏、高校野球を制した球児が示した「エンジョイ・ベースボール」という考え方を、野球以外の領域にも取り入れることを提案するプロジェクトを展開。本日「勤労感謝の日(11月23日)」の朝刊に、協賛企業2社が日常を楽しむ姿を描いたプロジェクト「#祝エンジョイ論」を掲載しました。

●プロジェクト概要

名称: 勤労感謝の日プロジェクト「#祝エンジョイ論」

掲載日: 2023年11月23日(木) 朝日新聞全国版朝刊

主催: 朝日新聞社

企画: The Breakthrough Company GO

>

contact

〈お問い合わせ〉
朝日新聞社メディア事業本部
プランニング3部
E-mail asahi-ainfo2@asahi.com



press release

朝日新聞

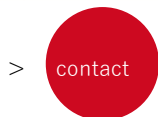
情報解禁日時
11月23日(木)09:00

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

●「#祝エンジョイ論」広告ビジュアル



TAKARA TOMY | KOTOHA | 朝日新聞社



〈お問い合わせ〉
朝日新聞社メディア事業本部
プランニング3部
E-mail asahi-adinfo2@asahi.com



press release

朝日新聞

情報解禁日時
11月23日(木)09:00

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

●プロジェクトステートメント

コンジョー論からエンジョイ論へ！

勝利は、我慢と苦しみの先にある。
そんな時代が終わろうとしている。
この夏、長髪の球児たちが語ったのは、
「エンジョイ・ベースボール」。
楽しむことを置き去りにしない戦い方だ。

根性を強みに成長し、そして、勢いを失った日本。
世界は今、ワクワクのなかから生まれるアイデアを求めている。

さあ、考えよう。週末のデートプランを練るように。
没頭しよう。ドラマを一気見するかのように。
挑戦しよう。ひな壇のお笑い芸人のように。

きょうは勤労感謝の日。
朝日新聞は、働くみなさんに新しい視点を届けるメディアとして、
「エンジョイ論」に賛同するみなさまとこの広告をつくりました。

#祝エンジョイ論

【本プロジェクト企画企業について】

○The Breakthrough Company GO

電通・博報堂より独立した三浦崇宏と福本龍馬によって2017年に設立。通常の広告・PR会社の領域を超えて、“事業クリエイティブ”を標榜。クリエイティブを核に大企業の新規事業立ち上げから事業成長や組織戦略のサポートまで手がける。また、PR発想とクリエイティブを掛け合わせた、ニュースになるプロモーションを得意とする。



〈お問い合わせ〉
朝日新聞社メディア事業本部
プランニング3部
E-mail asahi-adinfo2@asahi.com